



大阪市立

異南小学校

■ 校長名 牧野 恵美

■ 所在地 〒544-0015 大阪市生野区異南2-10-7

■ 電話番号 06-6757-9174

■ FAX番号 06-6757-6061

■ HPアドレス <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671497>

QRコード



標準服



重点目標

- 安全・安心な教育の推進
- 児童一人一人の実態把握と学習形態を工夫した学力の向上
- ICTを活用した教育の推進
- 「いのち」を大切にした人権教育・道徳教育の充実
- 組織的対応による規範意識の醸成と生活・学習規律の確立
- 働き方改革の推進と教育環境の充実
- チーム異南としての学校力の向上

主な学校行事

4月	入学式 始業式 対面式 学習参観
5月	校外学習 体力テスト
6月	土曜参観 子どもフェスティバル プール開き
7月	期末個人懇談会 終業式 林間学習 (5年)
8月	始業式
9月	土曜参観
10月	運動会
11月	土曜参観 (作品展) 修学旅行 創立記念日
12月	期末個人懇談会 終業式
1月	始業式
2月	土曜参観 卒業生を祝う会
3月	卒業式 修了式

教育目標

「人間性豊かな子どもの育成」

めざす子ども像

- よく考える子
- 思いやりのある子
- 力いっぱいやりぬく子

令和6年度全国学力・学習状況調査

■ 平均正答率 (%)

国語	算数
60	51

結果概要

平均正答率については、国語科では60%で、大阪市の66%よりも6ポイント低かった。算数科では51%で、大阪市の62%よりも11ポイント低かった。平均無答率については、国語科は6.2%で、大阪市の3.3%よりも2.9%高かった。算数科は、5.2%で、大阪市の3.2%よりも2ポイント高かった。正答率については、両教科共に短答式問題において正答率が低い傾向がみられた。また、記述式問題の正答率が算数科で低かった。

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

■ 種目別平均値

性別	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横びくみ (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	合計得点
男子	16.24	18.38	34.76	34.00	41.71	9.74	136.71	20.90	48.45
女子	16.44	16.63	39.96	34.41	33.30	10.32	123.59	12.00	49.63

結果概要

- 平均値について
 - ・男子 全国、市平均ともに8項目中3項目上回った。
 - ・女子 全国、市平均を8項目中2項目上回った。
- 体力合計点について
 - ・男女ともに平均値が低い児童の割合が高い。
- 質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答状況
 - ・男子 全員が肯定的意見
 - ・女子 肯定的意見が約7割
- 一週間の総運動時間が60分未満の児童の割合
 - ・男子 1割
 - ・女子 約4割

校長先生のメッセージ

本校は昭和47年の創立以来、異南地域の皆様の深い愛情に育まれ発展してきました。令和7年5月1日現在、266名の児童が学んでいます。児童は、学習規律の確立された中、落ち着いた環境のもとで、伸び伸びと学校生活を送っています。授業や行事に真摯に向き合い、仲間を大切に、日々、児童の笑顔があらわれる学校です。地域も見守り活動を通して児童の安全を支えてくれています。「人間性豊かな子どもの育成」をめざし、地域・保護者・学校が一体となって教育活動を推進しています。

運営に関する計画

計画のエッセンス

大阪市教育振興基本計画の基本理念に基づいて、「人間性豊かな子どもの育成」を目標に「よく考える子 思いやりのある子 力いっぱいやりぬく子」を、めざす子ども像とする。

■ 中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないか」と思っていますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を94%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思えますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。
- 令和7年度末の児童アンケートにおける「友だちの気持ちを考え、友だちを大切にしている」の項目について、「とてもそう思う」と回答する児童の割合を78%以上にする。

「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

■ 人間性豊かな子どもの育成「いのちを大切に」

芝生や池、メダカや小鳥などの自然豊かな環境とふれあう体験を通して「いのち」に気づかせ、自然を大切にすることを養います。また、「いじめ」のない支え合う集団の育成をします。児童相互、教職員と児童のふれあいを深め、児童の実態を正しく把握し、効果的な指導を行います。

■ 異学年の交流活動「集団活動に意欲的に取り組む態度を養うとともに、連帯感を育てる。」

週1回、児童集会で縦割り班によるゲームを実施しています。また、通年の集団登校も実施しています。高学年は学校のリーダーとして、自己有用感（誰かの役に立たてたという成就感や能力から必要とされているという満足感）を育みます。低・中学年は、高学年のしてくれたことに感謝し、自分もあんな高学年になりたいと憧れの気持ちをもつことが成長につながっていきます。

■ ICTの活用「主体的・対話的で深い学びを実現するために自ら探求する力の育成」

主体的に調べたり、考えたり、まとめる活動を通じて、深い学びを実現するために、ICT機器を活用した指導を行っています。大型ディスプレイで映像資料を見たり、デジタル教科書を使ったりすることで、視覚的に分かりやすい授業を実践しています。高学年ではICT機器を活用して、プレゼンをする授業も行っています。まだICTスキルが不十分な低学年に対しては、高学年がタブレットPCの基本操作を教える交流学習を行っています。

家庭・地域等との連携

■ PTA活動「子どもたちの笑顔のために」

登下校の交通安全指導、たつなんフェスタなど、児童の安全を見守ってくださったり、子どもたちの笑顔のためにいろいろな企画を考えてくださっています。

■ 地域活動「子どもたちは地域の宝です」

登下校の見守り隊をはじめ、はぐくみネットのおそうじティーチャー、ふれあいフェスタ、大規模災害想定訓練など、様々な組織・団体による多種多様な取り組みによって、子ども達の健全育成に協力していただいています。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を42%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を76%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数、年間授業日の60%以上にする。
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。

